

第5学年 外国語科 学習指導案

1 単元名 「Unit6 What would you like?」

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1・2	ていねいに注文をしたり、値段をたずねたりするやり取りのおおよその内容を理解する。
2	3 4	食べたい料理を決めて、ていねいな表現で注文をしたり、注文を受けたりする。 注文した料理の値段をたずね合ったり、メニューを考えて値段を言ったりする。
3	5	日本各地の名物を選んでメニューを考えて、ペアで注文したり、会計したりする。
4	6 7	世界の食文化について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。 英語と日本語の違いを知り、世界と日本の文化に対する理解を深める。
5	8 (本時)	外国から来た友達のために、ふるさとメニューの買い物をしたり、会話をしたりする。

3 本時について (8/8)

- (1) ねらい 外国から来た友達のために、ふるさとメニューについて、ていねいに注文したり会計したりして伝え合うことができる。
- (2) 評価規準 外国から来た友達のために、ふるさとメニューについて、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりして伝え合っている。
- (3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
導入	<p>1 「Let's Sing♪」を歌う。♪What would you like?</p> <p>2 挨拶をする。 Let's start English! Yes, let's.</p> <p>How are you? What day is it today? What's the date today? How's the weather today? What's temperature today? What's humidity today?</p> <p>3 「Let's Chant①②」を唱える。</p> <p>① I'd like a hamburger. ② How much is it?</p> <p>4 学習課題を設定する。</p> <p>外国人の友人 (←または ALT) のためにふるさとメニューを注文したり、値段をたずねたりしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動画撮影や視聴方法は事前指導。 ・一斉指導で行うため、質問に対して「①自分で答える」、「②答え方を繰り返す」の2段階で進める。
展開	<p>5 【Enjoy Communication】対話のための練習をする。</p> <p>(1) 単語練習 数、食べ物、飲み物</p> <p>(2) ダイアログ練習</p> <p>・自撮りで動画撮影し、自分の英語の発音を振り返る。</p> <p>①What would you like? I'd like a hamburger and a salad. ②How much is it? A hamburger is 570 yen. A salad is 240 yen. 810 yen, please.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【ICT活用の工夫】(教師主導) ・毎時間、デジタル教科書の Let's Sing と Let's Chant をルーティーンで行い、繰り返し歌ったり唱えたりして覚えられるようにする。 ・学習しているページを提示し、適宜指し示したり、写真や動画などを使って、視覚的に理解がしやすいように配慮する。 ・単語練習はリズムカルに進める。 ・英語を声に出して唱える場を確保する。 ・前時まで、どんな動画撮影をするのかを明確にしておく。
まとめ	<p>6 自分の対話の様子を動画撮影し、客観的に見て振り返る。</p> <p>・タブレット端末を班で1台用いて、2人が対話している様子を残り2人が撮影する。自分達の対話の様子を動画で見て、振り返る。 「大きな声で話せているけれど、さらに発音に気を付けたい。」 「ただ英語で話している感じ。もっとジェスチャーをつけたい。」</p> <p>・よりよい対話になるように、繰り返し対話を撮影し、振り返る。 「発音がよくなった。ジェスチャーで分かりやすく伝えられた。」</p> <p>・ベストな対話を全体交流で視聴する。</p> <p>・自然な会話ができるよう、既習の英語を使ったり、自分達で用意した小道具 (財布やお金、机など) を使ったりする。</p> <p>7 撮影した動画を全体交流し、仲間のよさを見つける。</p> <p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>・振り返りシートに記入する。</p> <p>9 挨拶をする。</p> <p>・Let's finish English! Yes, let's. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【ICT活用の工夫】(児童主体) ・1人1台タブレット端末を使い、ダイアログ練習を自撮りしてすぐに振り返ることで、客観的に自分の発話を振り返ることができるようにする。 ・対話の場面では、各グループに1台の端末を使い、2人の対話を動画撮影したり見たりして学び合えるようにすることで、より質の高い対話にするための意欲化を図る。 ・撮影した動画を全体で共有する。